

昨年度いただいた意見と対応状況

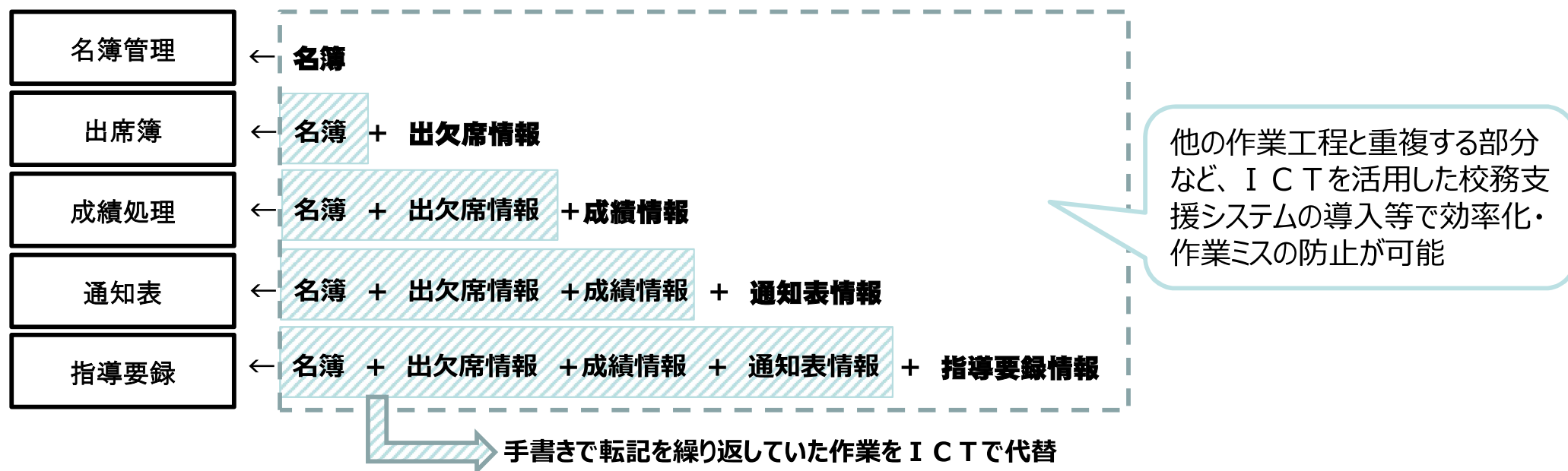
頁	新事業No.	事業名	委員からの意見・確認事項	各課回答（対応状況）	担当課
2	12	ホームページなどによる情報発信	市ホームページの多言語化に取り組んでほしい。	現在のホームページ契約上、外国語WEB翻訳サービスは、有料オプションとなっているため、お使いいただいているパソコン・スマートフォン等のブラウザにおける翻訳機能の使用をホームページで御案内しております。 また、有料オプションでは、3つの外国語（英語、中国語、韓国語）にしか対応していないのに対し、ブラウザの翻訳機能は、世界の多数の言語に対応しているため、こちらを採用しているところであります。	企画調整課
2	12	ホームページなどによる情報発信	市ホームページのアクセシビリティを上げてほしい。	各情報につきましては、分類ごとに整理しているところではありますが、今後も見やすく、かつ情報に辿り着きやすいよう、情報等の整理に努めるとともに、検索機能を利用した際、ヒットしやすいよう、キーワードの登録について、各所属に周知してまいります。	企画調整課
-	-	-	水道課ホームページのオンライン届出処理で、外国人（アルファベット）対応してほしい。	アルファベット入力に対応済みです。入力エラー発生時に表示される文言（エラー箇所）や、入力必須である注意書きが見えやすいよう、画面構成を修正いたします。	水道課
8	53	小中学校 ICT 教育推進（児童・生徒用タブレット整備）	感染症や不登校で休んでいる小中学生に対し、児童生徒用タブレットの活用を促してはどうか。	学校ごとに、授業の様子をオンラインで配信している学校や、黒板の写真を撮って児童生徒に共有する学校があるところです。	学校教育課
8	51	校務支援システムの導入及び運営	校務支援システムについて、どのような効果が上がっているのか、具体的に教えてほしい。 （資料をいただきたい）	校務支援システムを活用すると、情報の共有化ができるため、教務に係る時間短縮やペーパーレス化などに取り組むことができます。	学校教育課
-	-	-	学校長会議にオンラインを活用できないか。	オンラインを活用できる部分もありますが、オンラインでは伝わりにくい事案もあるため、すべてをオンラインで行うことは難しいところです。	学校教育課

「統合型校務支援システムの導入促進」の必要性

- 教員の働き方改革にあたり、**I C Tの活用による業務改善に期待。**
- **「統合型校務支援システム」とは、教務系（成績処理、出欠管理、時数等）・保健系（健康診断票、保健室管理等）、指導要録等の学籍関係、学校事務系など統合して機能を有しているシステムのことであり、「手書き」「手作業」が多い教員の業務の効率化を図る観点で有効。また、教職員による学校・学級運営に必要な情報、児童生徒の状況の一元管理、共有を可能とする。**
- 小規模自治体の負担や、教員の異動等を踏まえると、教員の業務負担軽減に向けては、**都道府県単位での統合型校務支援システムの導入推進が不可欠。**

（参考：市区町村の導入率は28.8%、町村では17.4%のみが導入）

◇ I C T化による業務改善イメージ



※平成29年度は、システムの対象となる校務の範囲の明確化や、共同調達・運用の先行事例（北海道等）の調査を踏まえたガイドライン作成等に取り組む予定。